年間授業計画 新様式

高等学校 令和５年度（3学年用） 教科　情報　科目 情報の科学

教　科：情報　科　目：情報Ⅰ　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：（選択：石原　）

使用教科書：（ 実教出版 最新情報の科学 情科３０７ ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術等を活用し、問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得するとともに、人との関わりについて理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】種々の事象を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見・解決にむけて、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参加する態度を養う。

科目 情報の科学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報の意義や情報技術の活用について、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、科学的な思考や考察を活用するとともに、適切に判断し表現している。	情報および情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付けるとともに、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】身近な情報について、仕組みや特性を理解するとともに、その取扱いについて適切に行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】情報の特性に応じた活用事例を理解し、その理解を多面的に実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】身近な情報技術について、授業内容を活用し、よりよい活用方法について、自分自身の生活において改善しようとしている。	・指導内容 序章　情報社会と私たち １章　情報とコンピュータ ・教材教具 教科書・パソコン	【知識・技能】身近な情報について、データの構造について理解し、その変換やネットワーク上の動作について理解している。 【思考・判断・表現】コンピュータの構成要素について理解し、論理的な説明をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】無形のものや仕組みについて、科学的にどのようなものがあるか、具体化できるようにしているか。	○	○	○	16
		・指導内容 ２章　ネットワークの仕組みと情報システム ・教材教具 教科書・パソコン		○	○	○	10
	定期考査・答案返却			○	○		2
2学期	【知識及び技能】問題解決の手段や手順について理解し、その解決方法を選択することができる。 【思考力、判断力、表現力等】ソフトウェアを適切に選択・活用し、解決案を検討・分析し、結論を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】身近な問題について触れ、その解決方法を検討し、解決方法を広げようとしている。	・指導内容 ３章　問題解決のためのコンピュータ活用 ・教材教具 教科書・パソコン	【知識・技能】フローチャートは文章表現について理解し、アルゴリズムにつなげて考えることができる。また、ヒョウケイサンソフトウェアで簡便に行うことができる。 【思考・判断・表現】問題解決について、どのような問題が存在するかモデル化し、試行錯誤しながらアルゴリズムを創作し、問題を解決することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な事象についてモデル化をしたり、その改善について科学的に考え、説明することができるか。	○	○	○	18
		・指導内容 ４章　ネットワークとデータベースの活用 ・教材教具 教科書・パソコン		○	○	○	10
	定期考査・答案返却			○	○		2
3学期	【知識及び技能】情報技術について、具体的にユーザビリティやアクセシビリティについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションについて、情報化の進展によってどのような変化が生じ、これらに対応した方法で実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】知的財産権や個人情報保護等の法的制度に触れるとともに、よりよいコミュニケーションを実践しようとする。	・指導内容 ５章　情報技術と社会 ・教材教具 教科書・パソコン	【知識・技能】身近な情報技術について仕組みを理解し、ユーザビリティをの向上にどのように影響を与えているか説明できるか。 【思考・判断・表現】身近な情報技術について理解し、アクセシビリティやユーザビリティについて配慮ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】ネットワークコミュニケーションについて歴史的な理解をするとともに、社会情報の諸問題を継続的に解決しようとすることができるか。	○	○	○	12 合計 70